

I. 施設概要

〔1〕所在地

金沢市畝田東1丁目1番地1

〔2〕校地

総面積 56,627 m² (17,160坪)

運動場面積 32,543 m² (9,862坪)

〔3〕構造・規模（主なもの）

管理・教室棟（鉄骨造3階建）	4,253 m ²
教室棟（鉄骨造3階建）	3,723 m ²
第一実習棟（鉄骨造3階建）	4,178 m ²
新第二実習棟（鉄骨造2階建）	2,346 m ²
旧第二実習棟（鉄骨造2階建）	3,472 m ²
情報教育実習棟（鉄筋コンクリート造4階建）	1,646 m ²
新第一体育館棟（鉄骨鉄筋コンクリート造2階建）	2,892 m ²
第二体育館棟（鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建）	2,105 m ²
特別教育活動学習棟（鉄筋コンクリート造平屋建）	202 m ²
屋内温水プール棟（鉄骨造2階建）	1,397 m ²

〔4〕主要施設

普通教室	18室	
特別教室	11室	
管理室	19室	
実習室	42室	機械科 15室
		電気情報科 15室
		建築科 6室
		土木科 6室
その他		食堂 1室
		特別教育活動学習棟 1棟
		運動部室 1棟
		弓道場 1棟
		テニスコート 2面
		体育館 2棟
		図書室 1室
		同窓会館 1棟
		屋内温水プール 1棟

Ⅱ. 沿革

〔1〕旧本科第一部

昭和 3年 4月	金沢市立工業学校が金沢市小将町高等小学校内に開校する
昭和 3年 5月	開校式（25日）をあげ、爾後この日をもって創立記念日と定める
昭和 5年 8月	本館新築落成につき移転（泉野）する
昭和 9年 4月	中等学校卒業を入学資格とする専修科を併設する
昭和10年 3月	専修科を第二部と改称する
昭和17年 3月	第二部廃止
昭和19年 4月	校名を金沢市立第一工業学校と変更する
昭和23年 4月	金沢市立工業高等学校（機械・電気・建築・土木）（本科第一部）設置、 金沢市立第二工業学校廃止に伴い同校生徒を編入する
昭和24年 4月	家庭科新設
昭和34年 4月	電子科新設
昭和38年 4月	精密機械科新設
昭和38年12月	金沢市畝田町に新校舎竣工、移転する
昭和43年10月	創立40周年記念図書館竣工
昭和52年 5月	第二体育館竣工
昭和53年 9月	創立50周年記念同窓会館竣工
昭和61年12月	特別教育活動学習棟竣工
昭和62年11月	C A I 教室開設
平成元年 4月	電子機械科、情報科新設
平成元年12月	情報教育実習棟竣工
平成 6年 4月	第一実習棟竣工
平成 8年11月	校内LANシステムの構築
平成 9年 7月	屋内温水プール棟竣工
平成12年 4月	機械システム系及びエレクトロニクス系のくくり（一括）募集実施
平成13年 4月	機械テクノロジー科と情報システム科を新設
平成15年 4月	2学期制を導入
平成17年 7月	新第一体育館（第1期工事）竣工
平成20年 4月	機械科、電気情報科を新設
平成21年 8月	新第二実習棟（第2期工事）竣工
平成22年12月	管理・教室棟、教室棟（第3期工事）竣工

〔2〕本科第二部（平成23年3月廃止）

大正13年 4月	実業補習学校規定に基づいて金沢市小将町高等小学校内に金沢市工科学学校として創設、予科及び本科（電気・建築・土木）（夜間課程）を設置、修業年限は予科1年、本科2年とする
昭和 3年 4月	金沢市立工科学学校と改称する
昭和 5年 8月	金沢市泉野町の金沢市立工業学校に移転併置する

昭和 6年 4月	本科の土木科を廃止、機械科をおく
昭和10年 9月	青年学校令により学則を改正し、金沢市立工科青年学校と改称する
昭和11年 4月	予科を普通科と改め2年とする
昭和13年 4月	金沢市立工科青年学校の募集を停止し、金沢市立工業学校に新たに第二本科(機械・電気・建築)を併設し、第1学年の生徒を入学させる(修業年限2年)
昭和19年 4月	金沢市立第一工業学校第二本科と改称する
昭和20年 4月	第二本科を専修科と改称する
昭和23年 4月	学制改革により金沢市立工業高等学校に本科第二部(定時制)として併設され、(機械・電気・建築)を設置、修業年限4年、専修科第1学年修了者及び新制中学校卒業者を入学させる
昭和34年11月	完全給食実施
昭和38年12月	新校舎竣工(畝田町)
昭和39年11月	運動場夜間体育用照明設備完成
平成12年 4月	単位制を導入
平成13年 4月	機械システム、電気、建築の各科を統合、産業技術科と改編し、機械、電気、建築の各コースをおく
平成20年 4月	新入生の募集を停止する
平成23年 3月	廃止

〔3〕専攻科(平成21年3月廃止)

平成 8年 4月	専攻科(夜間部2年制、電気科・建築科)を新設
平成20年 4月	新入生の募集を停止する
平成21年 3月	廃止

Ⅲ. 事業概要

〔1〕教育目標

1. 高い教養とすぐれた技能を
2. 責任ある言動と協調の精神を
3. 勤労の喜びと健全な心身を



電気計測の実習（電気情報科 電気コース）

〔2〕教育活動

1. 教職員数、設置学科、在籍生徒数及び学級数

(1) 教職員数

(人)

教 員		事 務 等	
校 長	1	事 務 局 長	1
教 頭	2	事 務 局 長 補 佐	1
主 幹 教 諭	1	グ ル ー プ 長	1
教 諭	37	主 査	2
実 習 教 諭	10	主 事	1
臨時的任用講師	13	校 務 士	1
養 護 助 教 諭	1	非 常 勤 職 員	3
指 導 教 員	1		
非 常 勤 講 師	9		
A L T	1		
小 計	76	小 計	10
総 計	86		

(2) 設置学科、在籍生徒数及び学級数（5月1日現在）

【定員：720名】

(人)

区 分	合 計		1 年		2 年		3 年	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
合 計	701 (135)	18	240 (45)	6	229 (45)	6	232 (45)	6
機 械	229 (8)	6	80 (2)	2	70 (4)	2	79 (2)	2
電 気 情 報	239 (53)	6	80 (13)	2	80 (19)	2	79 (21)	2
建 築	115 (52)	3	40 (20)	1	40 (17)	1	35 (15)	1
土 木	118 (22)	3	40 (10)	1	39 (5)	1	39 (7)	1

() 内は女子再掲

(3) 最近5ケ年の入学志願者及び入学者状況 (人)

年 度	定 員	志願者	入学者
平成19年度	240	299	240
平成20年度	240	295	240
平成21年度	240	287	240
平成22年度	240	254	233
平成23年度	240	356	240

(志願者数は、推薦入学と一般入学の延べ人数)

2. 卒業生の動向

(人)

卒業年度・科	卒業生数	内 訳								
		就 職				進 学				その他
		小 計	官公庁	民間	自営	小 計	大学	短大	専門学校	
平成18年度	233	117	3	110	4	115	53	16	46	1
平成19年度	228	123	4	112	7	98	51	9	38	7
平成20年度	233	123	4	118	1	105	53	15	37	5
平成21年度	231	111	5	105	1	112	49	16	47	8
平成22年度	236	123	5	117	1	109	68	5	36	4
機械	79	44	2	41	1	35	28	2	5	-
電気情報	79	36	1	35	-	40	20	3	17	3
建築	39	21	1	20	-	18	13	-	5	-
土木	39	22	1	21	-	16	7	-	9	1

(平成23年3月31日現在)

〔3〕校舎改築について

市立工業高校が現在地に移転して40年以上が経過し、老朽化が著しくなっている。21世紀にふさわしい工業高校としてもものづくりや環境教育に対応し、地域に開かれた学校を目指し、校舎の改築を実施。

〔概要〕

現在地にて建築年次の新しい第一実習棟・情報教育実習棟・屋内温水プール棟等を除き、改築。

- ・平成17年度 新第一体育館竣工
- ・平成19年度 第二体育館等改修工事（耐震化、改修）実施
- ・平成21年8月 新第二実習棟竣工
- ・平成22年12月 管理・教室棟及び教室棟竣工
- ・現在、平成24年2月の完成を目指し、メディアセンター棟の改築工事を本格化

〔4〕「工業教育金沢モデル」の実践について

ものづくり教育を充実させ、魅力ある工業高等学校づくりのため工業教育金沢モデルを推進する。

〔概要〕

- ・ 工業人養成企業実習の本格実施
- ・ ものづくり高校発信講座の実施
生徒の日頃の成果を近隣中学校等で発表し、工業高校への関心を高める
- ・ 現場の技術力を学ぶ
民間技術者や職人大学校等と連携した講師陣による多様な授業の実施
- ・ ものづくり技能向上
技能検定受験対策やものづくりコンテスト対策を強化し、生徒のものづくり技能を向上
- ・ ものづくり教育連携
金沢工業大学、金沢美術工芸大学との連携により体験学習を実施